

広報いしかわ

Ishikawa Prefecture

テレビ広報

北陸放送
石川テレビ

【ほっと石川】
3月24日(土) PM5:15~5:30
【備えあれば憂いなし防災力の強化】
【ウィークリーいしかわ】
毎週日曜 PM5:25~5:30

テレビ金沢
北陸朝日

【石川まるごと探検隊】
3月18日(日) AM7:30~8:00
【石川のエコツーリズム】
【石川ほっとニュース】
毎週土曜 PM5:55~6:00

ラジオ広報

北陸放送
エフエム石川

【県からのおしらせ】
毎週火・金曜 PM2:30頃(3分間)
【素敵にモーニング】
毎週日曜 AM9:55~10:00

ホームページ www.pref.ishikawa.lg.jp E-mail e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 ☎076(225)1100

安全安心の足元を固め

いしかわの未来を見据え、大きく一歩!

平成24年度当初予算は、「北陸新幹線の金沢開業対策」「防災対策をはじめとした県民生活の安全・安心の確保」「経済・雇用対策」の3つを重点課題に掲げて編成しました。

防災・医療・福祉などの県民の安全・安心の確保や、経営・資金・雇用の安全といった足元を固める施策に着手に取り組む一方で、開業年度まであと2年と迫った北陸新幹線の金沢開業など新たな発展の機会を捉え、未来を見据えた一歩を力強く踏み出します。

平成24年度当初予算案
一般会計

5,235億9,700万円

(対前年度当初比3.5%増)



北陸新幹線金沢開業対策

(1) 北陸新幹線金沢開業に向けたアクションプラン(STEP21)の推進

- 北陸新幹線の着実な建設促進(長野～白山総合車両基地間の早期開業、白山総合車両基地～敦賀間の早期認可、着工)
- 並行在来線第三セクター会社の設立
- 民間グループや団体が行う先導的な取り組みへの支援と全県波及
- おもてなしの向上(観光事業者向け「観光おもてなし塾」、県民向け「おもてなし講座」など)
- 食の魅力向上(ぶどうルビーロマン、能登牛、七尾湾産トリガイ、原木生しいたけ「のとてまり」の生産拡大とブランド化推進)



- 歴史・景観を活かした地域づくり
 - ・金沢城公園(橋爪門の復元、玉泉院丸跡の暫定整備)
 - ・県庁跡地・中央公園の再整備
 - ・歴史博物館リニューアル整備
- 金沢開業カウントダウンフォーラム(仮称)の開催
- 能登半島地震復興基金の延長(250億円、5年間)

(2) 首都圏誘客500万人構想の実現へ向けた戦略的誘客対策の推進 《「首都圏戦略元年」と位置づけ》

- 新幹線開業PR戦略実行委員会(仮称)の設置、PR戦略実行プランの策定
- イベントの開催・誘致による交流拡大
【いしかわスイーツ博2012】の開催、平成27年春の全国植樹祭の開催誘致など

(3) 人・ものの広域交流のための基盤整備の推進

- 能越自動車道(七尾東IC～大泊IC間)、金沢外環状道路海側幹線(金沢市鞍月～大河端間)、能登有料道路の直線化区間及び加賀産業開発道路4車線化区間の供用
県内有料道路の平成25年4月1日からの無料化のPR
- 小松空港・能登空港の利用促進
- 金沢港・七尾港の整備・利用促進

東日本大震災を踏まえた防災対策の充実強化

(1) 地震・津波対策

- 自主防災組織リーダー(防災士)の倍増(1,500人→3,000人(平成28年度までに))



- 福祉施設・医療機関等の防災マニュアル等の策定など
- 県立学校・災害拠点施設等の耐震化促進
- 津波ハザードマップの作成・津波避難訓練に対する支援

(2) 原子力防災対策

- 志賀原子力発電所30km圏内の防災体制の整備
 - ・30km圏内の市町に、専用回線による緊急連絡網を整備するとともに、市町・消防本部に、防護服やサーベイメーターなど原子力災害初動時に必要な防災用資機材を配備
 - ・原子力防災に関する研修・講習の拡充による担当職員の育成
 - ・原子力防災訓練の実施
- ・30km圏内の市町に安定ヨウ素剤を配備
- ・モニタリングポスト15基増設

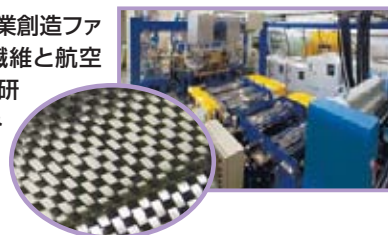
経済・雇用対策

(1) 経営・資金・雇用の3つの安心の確保

- 企業ドックによる経営悪化の未然防止(1,500回)
- 省エネによる企業の競争力強化支援(省エネ版企業ドック、省エネ設備改修に対する助成制度)
- 緊急経営安定支援融資(600億円)・借換融資(300億円)の新規融資枠の確保
- 介護求人アドバイザーを新たに配置し、能登地域の介護分野での再就職を支援
- 緊急雇用基金により、1,246人分の雇用を創出
- 高校・大学生等の就職支援(合同就職面接会の開催など)

(2) 未来への先行投資

「いしかわ次世代産業創造ファンド」により、炭素繊維と航空機の分野における研究開発等の取り組みに対し、重点的に支援しています。



(3) 公共投資の確保による地域経済の下支え

国の公共事業費が▲3.6%削減される中、県立学校・災害拠点施設等の耐震化を前倒して促進するなど、積極的に事業量を確保し、年度間で事業費が増減する新幹線建設費を除き、+0.9%増と前年を超える水準を確保しました。

時代を先取りするいしかわの新たな取り組み

(1) 世界農業遺産「能登の里山里海」の利用・保全

●スマート・ドライブ・プロジェクト

情報端末を活用しながら、環境にやさしいプラグイン・ハイブリッドカーで能登の里山里海をドライブするプロジェクトを実施します。電気自動車やプラグイン・ハイブリッドカーの充電スポットと公衆無線LAN環境を併せて整備します。



- 里山保全活動を促進するための「里山ポイント制度」の創設
- 「能登棚田米」のブランド化
- エコ農業の強化促進
- 休耕田を活用したドジョウ養殖の事業化推進

(2) 再生可能エネルギーの利活用、省エネ・節電対策の推進

●産業振興ゾーンの「スマートゾーン」化

工業試験場と地場産業振興センターで、電力消費の削減のための「エネルギーマネジメントシステム」をモデル的に導入します。電力使用量の「見える化」により、削減効果を具体的に示し、企業に対するシステム導入の普及・拡大を図ります。併せて「いしかわエコハウス」の省エネ効果を、最新の情報機器を活用し、データやグラフでわかりやすく解説します。



- 農業用水等を利用した小水力発電の可能性調査
- 奥能登「春蘭の里」をモデルとした再生可能エネルギーの地産地消の普及啓発
- 省エネ・節電アクションプランの推進によるいしかわ版環境ISOの取り組み拡大(家庭版取組数: 9,000家庭→18,000家庭)

医療・福祉・教育へのきめ細かな対応

- 医師不足地域における医師確保対策
- 新たな地域医療再生計画による高度専門医療の強化
- 県立中央病院の建て替え(基本設計)

●いしかわ子ども交流センタープラネタリウムのリニューアルオープン(4月28日)

新しく導入した360度のデジタル動画システムにより、大迫力の美しい映像で、宇宙に飛び出したような疑似体験が味わえます。



- 野菜摂取促進に向けた「もっと野菜プロジェクト(MYP350)」の展開
- 教員研修制度改革会議(仮称)の設置(「いしかわ師範塾(仮称)」開講などの検討)